

2009年8月改訂（第3版「指定医薬品」の規制区分廃止による削除）
*2008年6月改訂

漢方製剤

劇薬 三和当帰芍薬散加附子エキス細粒

| | |
|------------|-----------|
| 日本標準商品分類番号 | 875200 |
| 承認番号 | 61AM第3613 |
| 薬価収載 | 1986年10月 |
| 販売開始 | 1986年11月 |

貯法・取扱い上の注意

吸湿しやすいので、使用後は密栓し、直射日光を避け涼しいところに保管すること。

当帰芍薬散加附子

S-29

使用期限

ラベル又は外箱に表示。

本品は金匱要略に記載されている「当帰芍薬散」に附子を加味した処方（類聚方広義による）の水製エキスを細粒剤にした服用しやすい製剤である。

【組成】

本品1日量（9g）中、下記の当帰芍薬散料加附子水製エキス5.9gを含有する。

| | |
|---------------|----------------|
| 日局 トウキ 3.0g | 日局 ビャクジュツ 4.5g |
| 日局 センキユウ 3.0g | 日局 タクシャ 3.5g |
| 日局 シャクヤク 6.0g | 日局 加工ブシ 1.0g |
| 日局 ブクリヨウ 4.5g | |

*添加物として乳糖水和物、トウモロコシデンプン、結晶セルロース、部分アルファー化デンプン、軽質無水ケイ酸を含有する。

【性状】

本品はかつ色の細粒で、特異な芳香を有し、味は苦い。

【効能又は効果】

血色悪く貧血性で足腰が冷え易く、頭痛、頭重で小便頻数を訴え時に目眩、肩こり、耳鳴り、動悸あるものの次の諸症
婦人の冷え症、月経痛、神経痛、慢性腎炎、更年期障害、
妊娠中の障害（浮腫、習慣性流産の予防、痔疾、腹痛）、
産後の肥立不良

【用法及び用量】

通常、成人1日9gを3回に分割し、食前又は食間に経口投与する。なお、年齢、症状により適宜増減する。

【使用上の注意】

1. 慎重投与（次の患者には慎重に投与すること）

- 体力の充実している患者 [副作用があらわれやすくなり、その症状が増強されるおそれがある。]
- 暑がり、のぼせが強く、赤ら顔の患者 [心悸亢進、のぼせ、舌のしびれ、悪心等があらわれるおそれがある。]
- 著しく胃腸の虚弱な患者 [食欲不振、胃部不快感、悪心、嘔吐、腹痛、下痢等があらわれるおそれがある。]
- 食欲不振、悪心、嘔吐のある患者 [これらの症状が悪化するおそれがある。]

2. 重要な基本的注意

- 本剤の使用にあたっては、患者の証（体質・症状）を考慮して投与すること。なお、経過を十分に観察し、症状・所見の改善が認められない場合には、継続投与を避けること。
- 他の漢方製剤等を併用する場合は、含有生薬の重複に注意すること。ブシを含む製剤との併用には、特に注意すること。

3. 副作用

本剤は使用成績調査等の副作用発現頻度が明確となる調査を実施していないため、発現頻度は不明である。

| | 頻度不明 |
|-----|-------------------------|
| 消化器 | 食欲不振、胃部不快感、悪心、嘔吐、腹痛、下痢等 |
| その他 | 心悸亢進、のぼせ、舌のしびれ等 |

4. 高齢者への投与

一般に高齢者では生理機能が低下しているので減量する等注意すること。

5. 妊婦、産婦、授乳婦等への投与

妊婦又は妊娠している可能性のある婦人には投与しないことが望ましい。[本剤に含まれる加工ブシの副作用があらわれやすくなる。]

6. 小児等への投与

小児等には慎重に投与すること。[本剤には加工ブシが含まれている。]

【包装】 500g、3g×300包



三和生薬株式会社
宇都宮市平出工業団地6番地1

YH